



# トップメッセージ

TOP MESSAGE

NTTグループは、2023年に策定した新たな中期経営戦略（New value creation & Sustainability 2027 powered by IOWN）のもと、「新たな価値の創造とグローバルサステナブル社会を支えるNTTへ」を基本方針として掲げ、「IOWNによる新たな価値創造」や「循環型社会の実現」をめざし、グリーンソリューションの展開、循環型ビジネスの創造、ネット・ゼロ・エミッション※の達成などに取り組んでいます。

私たちNTT研究所では、IOWN（Innovative Optical and Wireless Network）構想の実現や革新的な環境エネルギー技術の研究開発により、「NTT Green Innovation toward 2040」の目標達成に貢献する役割を担っています。グローバルなパートナーと共に、持続可能な社会の実現に向けてイノベーションをつくりあげていきます。

※人為的な二酸化炭素の排出と除去のバランスが取れた状態



## 研究開発による持続可能な社会への貢献

NTTグループは、IOWNの普及・拡大や新たなサービスの提供、再生可能エネルギーの開発強化・導入拡大を通じて、自社のカーボンニュートラル達成に向けた取り組みを社会へ拡大し、日本政府が掲げる「2050年カーボンニュートラル宣言」の実現に貢献します。なお、2025年日本国際博覧会では、IOWNで実現するコミュニケーションの未来像をアピールし、NTTパビリオンのシステムでは、初の光電融合デバイスを実装したIOWN光コンピュティングによる電力利用効率向上の効果を実証しました。

NTT研究所では、テクノロジーが環境へ溶け込むスマートな世界の構築をめざし、世界を変革する技術の研究開発を進めています。本環境レポートの特集1「環境に貢献する研究開発」では、社会のCO<sub>2</sub>排出量削減や再生可能エネルギーの利用促進に寄与する研究開発成果事例を、特集2「環境負荷低減と社会貢献を支える研究開発」では、気候変動への緩和・適応やWell-beingの向上といった社会課題の解決につながる研究開発成果事例を紹介しています。

## 研究所における環境保護への取り組み

NTT研究所では、1999年から順次取得したISO14001（環境マネジメントシステム）の下、環境保護に積極的に取り組み、NTT研究所で働くすべての人に環境活動が浸透・定着しています。

私たちは、環境保護や通信設備のレジリエンス強化に資する研究開発をはじめ、エネルギー・資源などの有効活用、廃棄物リサイクル、グリーン購入、化学物質の適正管理などを推進しています。また、生物多様性の保全にも継続的に取り組み、地域の皆さまとのコミュニケーションを大切にしながら持続可能な社会の実現に貢献しています。

本環境レポートをご一読いただき、忌憚のないご意見ならびにご支援をいただけますようお願い申しあげます。



研究開発担当役員  
IOWN総合イノベーションセンター  
センタ長 塚野 英博



研究開発担当役員  
サービスイノベーション総合研究所  
所長 兼清 知之



研究開発担当役員  
情報ネットワーク総合研究所  
所長 辻 ゆかり



研究開発担当役員  
先端技術総合研究所  
所長 岡田 顕